

避難所における 新型コロナウイルス感染症への対応

奈良県立医科大学
感染症センター・感染管理室
笠原 敬

避難所における新型コロナウイルス感染症

避難所における新型コロナウイルス感染症への対応について
2020年4月1日

避難所における新型コロナウイルス感染症への対応の参考資料（第1版）
2020年5月21日

避難所における新型コロナウイルス感染症への対応の参考資料（第2版）
2020年6月10日

避難所における新型コロナウイルス感染症への対応に関するQ&A（第1版）
2020年6月10日

避難所における新型コロナウイルス感染症への対応に関する
2020年7月6日



Q1. **自宅療養者**の避難先はどのように検討する必要がありますか。

- 新型コロナウイルス感染症患者は、感染拡大を防止するため、原則として**入院**または**宿泊療養施設**（いわゆる**ホテル**）などに滞在することが原則である。
- 速やかに入院・入所できない場合、**自宅療養**になっている場合がある。
 - **発災時に連絡が取れる**ようにしておく
 - **発災時に収容できる施設を検討**しておく
 - **どこに収容されたか速やかに確認**できるようにする

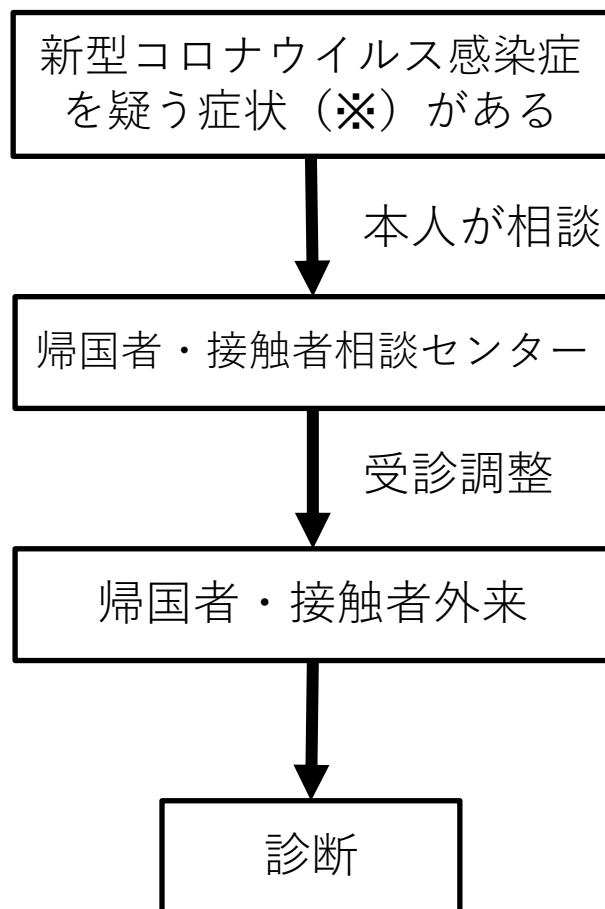


Q3. **自宅療養者**が一般の避難所に避難した場合の留意点は何ですか。

- 新型コロナウイルス感染患者の自宅療養者が一般の避難所に避難した場合、**なるべく速やかに入院 また宿泊療養施設等に行く**ための調整が重要。
- それまでの間は、一般の避難者とは**別の建物**にするか、同一の建物でも**動線を分ける**、**風呂やトイレを専用にする**などの対応が必要。Q6以降を参照のこと。
- **人権**への配慮



新型コロナウイルス感染症**診断**の流れ



※新型コロナウイルス感染症を疑う症状とは

- 息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがある場合
- 重症化しやすい方（※）で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状が続く場合
※高齢者、基礎疾患がある方、透析患者、免疫抑制剤や抗がん剤を用いている方など
- 上記以外の方で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合（症状が4日以上続く場合は必ず相談）

厚生労働省ホームページ「健康や医療相談の情報」

<https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/kenkou-iryousoudan.html>



Q5. **濃厚接触者**が避難する必要がある場合は、どのような準備をする必要がありますか。

- **濃厚接触者**とは、新型コロナウイルス感染症患者と「濃厚に」接触し、「**感染した**」**可能性のある者**のことをいう。
- **最終接触日から14日間**の間は、発症する（ウイルスを排出する）リスクがある。
- 感染対策上は、**新型コロナウイルス感染症患者と同様の扱いが必要**になる。



濃厚接触者の定義（Q5, 15等）

- 新型コロナウイルス感染症患者と「**濃厚に**」接触した者
＝最終接触から**14日間**は新型コロナウイルス感染症を発症する可能性があると思われ、**就業制限**、自宅隔離などとなる。
- 新型コロナウイルス感染症患者は**発症（症状が出ること）前から感染性がある**ことが知られており、発症の**2日前**までさかのぼって接触した者が濃厚接触かどうかの調査対象となる。
- 濃厚接触と思われる状況
 - － 同居あるいは長時間（車内や航空機内など）の接触
 - － **適切な感染防護**なしに診察、看護、介護
 - － 気道分泌物もしくは体液などの汚染物質に直接接触した可能性が高い
 - － 手で触れることの出来る距離（目安として**1m**）で、**必要な感染予防策なし**で患者と**15分以上**の接触があった者（周辺の環境や接触の状況等個々の状況から患者の感染性を総合的に判断する）



医療従事者の曝露のリスク評価と対応（参考）

新型コロナウイルス感染症患者と接触したときの状況		曝露のリスク	健康観察（曝露後14日目まで）	無症状の医療従事者に対する就業制限
マスクを着用している 新型コロナウイルス感染症患者と感染性期間中に長時間の濃厚接触あり				
医療従事者のPPE	PPEの着用なし	中リスク	積極的	最後に曝露した日から14日間
	サージカルマスクの着用なし	中リスク	積極的	最後に曝露した日から14日間
	サージカルマスクは着用しているが目の防護なし	低リスク	自己	なし
	サージカルマスクは着用、目の防護もしているがガウンまたは手袋の着用なし	低リスク	自己	なし（体位変換などの広範囲の身体的接触があった場合は14日間）
	推奨されているPPEを全て着用	低リスク	自己	なし
マスクを着用していない 新型コロナウイルス感染症患者と感染性期間中に長時間の濃厚接触あり				
医療従事者のPPE	着用なし	高リスク	積極的	最後に曝露した日から14日間
	サージカルマスクの着用なし	高リスク	積極的	最後に曝露した日から14日間
	サージカルマスクは着用しているが目の防護なし	中リスク	積極的	最後に曝露した日から14日間
	サージカルマスクは着用、目の防護もしているがガウンまたは手袋の着用なし	低リスク	自己	なし（体位変換などの広範囲の身体的接触があった場合は14日間）
	推奨されているPPEを全て着用	低リスク	自己	なし

- 長時間とは“15分以上”とする。ただし患者と医療従事者がともにマスクを着けず近い距離で対応した場合は3分程度でも感染が成立することがある。従って、時間だけで判断せず、その場の状況も勘案して判断する。
- サージカルマスクを着用した医療従事者がエアロゾルを大量に発生する処置を行った場合は中リスク。



Q7. 避難者が避難所に到着した際、どのように健康状態を把握し、**滞在スペースの振分け**を行えば良いですか。

- 健康チェックリストを作成し、避難所のどの部屋・スペースに振り分けるかの判断基準を決めておく。

別紙2

受付時 健康状態チェックリスト(例)

●太枠の中の項目についてご記入ください。

受付日: 令和 年 月 日

避難所名	氏名	年齢

チェック項目		
1	あなたは新型コロナウイルスの感染が確認されている人の濃厚接触者で、現在、健康観察中ですか？	はい・いいえ
2	普段より熱っぽく感じますか？	はい・いいえ
3	呼吸の息苦しさ、胸の痛みはありますか？	はい・いいえ
4	においや味を感じないですか？	はい・いいえ
5	せきやたん、のどの痛みはありますか？	はい・いいえ
6	全身がだるいなどの症状はありますか？	はい・いいえ
7	吐き気がありますか？	はい・いいえ
8	下痢がありますか？	はい・いいえ
9	からだにぶつぶつ(発疹)が出ますか？	はい・いいえ
10	目が赤く、目やにが多くないですか？	はい・いいえ
11	現在、医療機関に通院をしていますか？ (症状:)	はい・いいえ
12	現在、服薬をしていますか？ (薬名:)	はい・いいえ
13	その他気になる症状はありますか？ <small>※「はい」の場合、具体的に記入ください</small>	はい・いいえ
14	避難所での行動に際し、介護や介助が必要ですか？	はい・いいえ
15	避難所での行動に際し、配慮を要する障がいがありますか？ <small>※「はい」の場合、障がいの内容を記入ください</small>	はい・いいえ
16	乳幼児と一緒にですか？(妊娠中も含む)	はい・いいえ
17	呼吸器疾患、高血圧、糖尿病、その他の基礎疾患はありますか？ <small>※「はい」の場合、具体的に記入ください</small>	はい・いいえ
18	てんかんはありますか？	はい・いいえ

(以下は、受付担当者が記入します)

体温	℃	受付者名	
滞在スペース・区画			

※滞在スペース・区画欄には、避難する建物や部屋の名称および区画番号などを記入する

別紙3

滞在スペースと区画の振り分けについて(例)

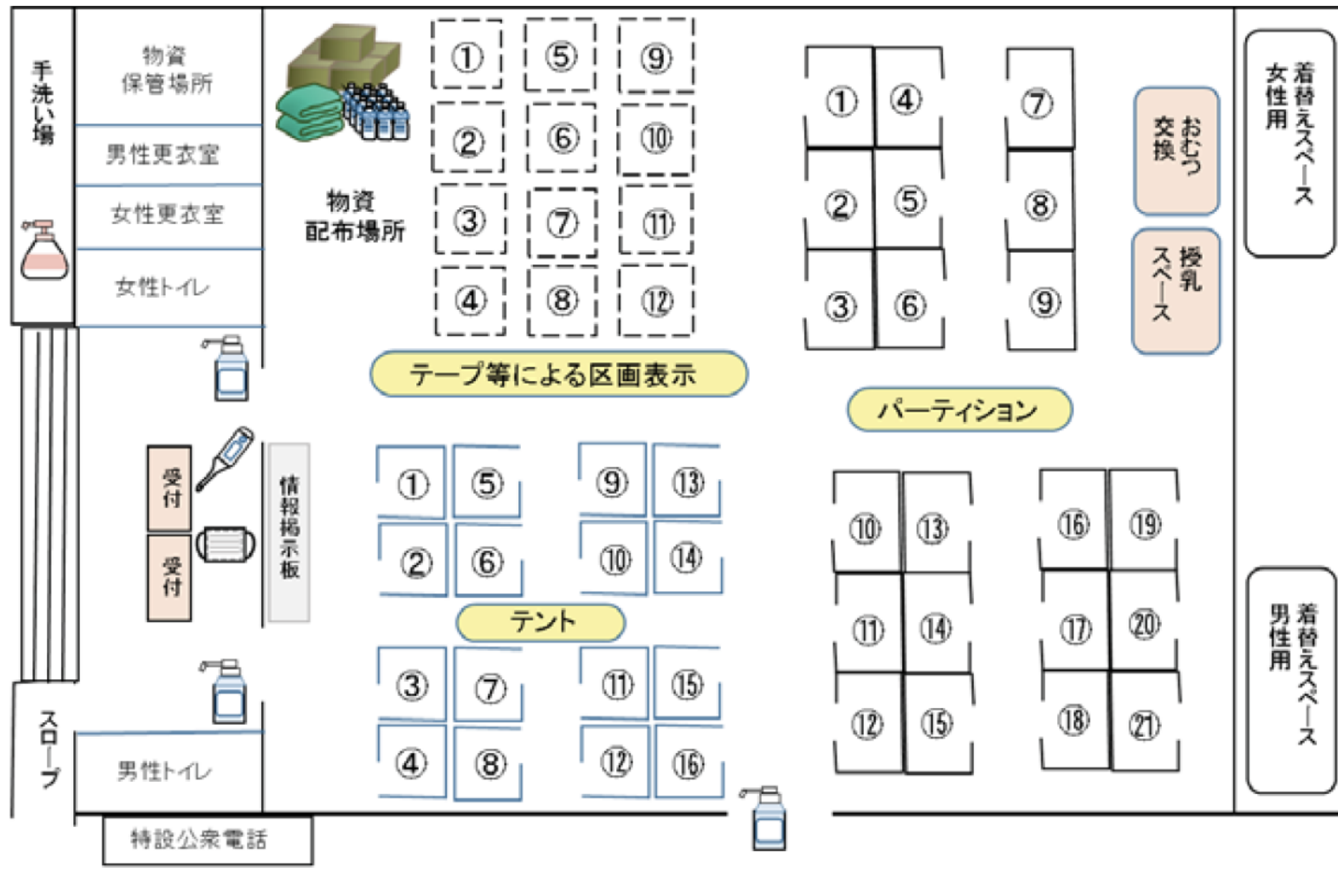
- 総合受付にて、避難者に「受付時 健康状態チェックリスト」を記入してもらい、避難者の検温を行う。
- 受付担当者は、避難者の検温を行い、滞在スペースと区画(パーティション〇〇番区画など)を決定する。

滞在スペース		状態	目安となる基準
集合スペース	避難者スペース	一般の避難者	チェックリストでチェックが入らなかった人
		要配慮者のうち、集合スペースの避難者スペースでの避難に差し支えない人	要配慮者に関する項目14～18にチェックがつくが、本人の申し出も参考に判断
専用スペース	障がい者高齢者スペース	要配慮者のうち、集合スペースでの避難に差し支えない人	要配慮者に関する項目14～18にチェックがつくが、本人の申し出も参考に判断
	濃厚接触者ゾーン	健康観察中の濃厚接触者	健康に関する項目11にチェックした人
	発熱者等ゾーン	発熱、咳等の症状がある人	健康に関する項目2～10にチェックがついた者、発熱がある人
	要配慮者ゾーン	要配慮者のうち、集合スペースでの避難が困難で、特に支援が必要な人	要配慮に関する項目14～18のいずれかにチェックがついた人(高齢の方)、およびその家族
	妊産婦ゾーン	乳幼児と一緒に避難した者または妊娠中の人	要配慮者に関する項目16にチェックがついた人のうち、希望する人

- 避難者は、決められた滞在スペースに移動する。
- 運営体制が整えば、それぞれのスペースにて受付を行う。



- テープ等による区画表示やパーティション、テントを利用する場合は、番号等を付し、誰がどの番号等の区画等に滞在しているか分かるように管理する。



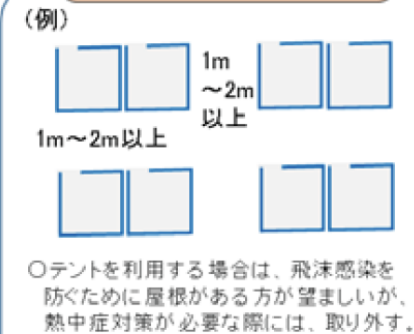
避難所滞在スペースのレイアウト（例）

- 体育館のような広い空間において、健康な人が滞在するスペースとしては、以下のような方法が考えられる。
感染対策やプライバシー保護の観点からは、パーティションやテントを用いることが望ましい。
- 感染リスクの高い高齢者・基礎疾患を有する人・障がい者・妊産婦等が滞る場合には、避難所内に専用スペースを設けることが望ましいが、体育館内に専用ゾーンを設け、以下と同様の考え方で利用することも考えられる。

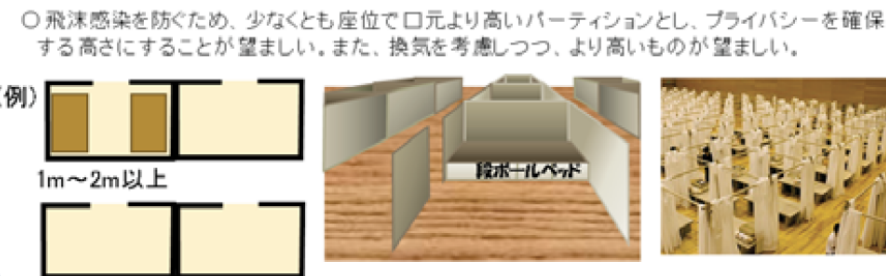
テーブル等による区画表示



テントを利用した場合



パーティションを利用した場合



- ※ 人と人の間隔は、できるだけ2m(最低1m)空けることを意識して過ごしていただくことが望ましい。
- ※ 避難所では、基本的にマスクを着用することが望ましい。特に、人と人との距離が1mとなる区域に入る人はマスクを着用する。
- ※ 上記は全て実施することが望ましいが、災害時において、種々の制約が想定され、出来る範囲で最大限実施することが望まれる。

Q8. 避難所で対応する職員等は，感染防止対策として具体的にどのような対策を取れば良いでしょうか。

避難所運営にあたり場面ごとに想定される装備（別紙5）

	マスク	目の防護具 ※1	使い捨て手袋 ※3	掃除用手袋 ※3, 4	長袖ガウン ※5
避難所受付時の対応	○	△ ※2	○		
清掃，消毒	○	○		○	
発熱，咳等の症状のある人や濃厚接触者の専用ゾーンでの対応 ※6	○	○	○		
発熱，咳等の症状のある人や濃厚接触者の専用ゾーンの清掃，消毒	○	○		○	
軽症者等ゾーンでの対応 ※6					
軽症者等ゾーンでの清掃，消毒	○	○	○		
ゴミ処理	○	○		○	○
リネン，衣服の洗濯 ※7	○	○		○	
シャワー・風呂の清掃	○	○		○	○ ※8

※ 1. フェイスシールドまたはゴーグル（シュノーケリングマスクなど目を覆うもので代替可）

※ 2. スタッフの個々が担当する内容に応じて使用する。（例：受付で連続して同じ人が複数の避難者に対応する際は着用する。単発的に，短時間（1人15分以内）で接する際は着用不要）（補足：相手がマスクをしていない場合）

※ 3. 手袋を外した際には手洗いを行う。使い捨てビニール手袋も可。

※ 4. 手首を覆えるもの。使い捨て手袋・使い捨てビニール手袋も可。（複数人での共用は不可）（補足：基本は使い捨て手袋）

※ 5. 医療用ではないので，ゴミ袋での手作りやカッパでの代用も可。

※ 6. 保健・医療活動は，保健師，看護師，医師が行う。

※ 7. 体液等で汚れた衣服，リネンを取り扱う際の装備。

※ 8. 撥水性のあるガウンが望ましい。



Q9. 避難所の開設後，避難者の健康状態について， どのように確認すれば良いでしょうか。

避難者健康チェックシート（例）（別紙6）

氏名（ふりがな）		年齢													
				（避難所名）											
体温測定		／（月）	／（火）	／（水）	／（木）	／（金）	／（土）	／（日）							
		朝	℃	朝	℃	朝	℃	朝	℃	朝	℃	朝	℃	朝	℃
		昼	℃	昼	℃	昼	℃	昼	℃	昼	℃	昼	℃	昼	℃
		夜	℃	夜	℃	夜	℃	夜	℃	夜	℃	夜	℃	夜	℃
息苦しさ	★ひとつでも該当すれば「はい」に○ ・息が荒くなった（呼吸数が多くなった） ・急に息苦しくなった ・少し動くと息があがる ・胸の痛みがある ・横になれない・座らないと息ができない ・肩で息をしたり，ゼーゼーする		はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ		
におい・味	においや味を感じない		はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ		
せき・たん	せきやたんがひどい		はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ		
だるさ	全身のだるさがある		はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ		
吐き気	吐き気がある		はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ		
下痢	下痢がある		はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ		
その他	★その他の症状がある ・食欲がない ・鼻水・鼻づまり・のどの痛み ・頭痛・関節痛や筋肉痛 ・一日中気分がすぐれない ・からだにぶつぶつ（発疹）が出ている ・目が赤く，目やにが多い など		はい・いいえ （症状）	はい・いいえ （症状）	はい・いいえ （症状）	はい・いいえ （症状）	はい・いいえ （症状）	はい・いいえ （症状）	はい・いいえ （症状）	はい・いいえ （症状）	はい・いいえ （症状）	はい・いいえ （症状）	はい・いいえ （症状）		
チェック欄															



Q11. 特定の避難者の専用の避難所とは、どのような避難者のための避難所として設定するのですか。

1. 高齢者・基礎疾患を有する者・障がい者・妊産婦等及びその家族

- － 感染症に罹患した場合に重症化するリスクがある。

2. 発熱・咳等の症状のある人

3. 濃厚接触者

- － 最終接触日から14日間は新型コロナウイルス感染症を発症するリスクがある。

- Q&Aでは上記1～3が記載されているが、これらに加えて自宅療養中の**新型コロナウイルス感染症患者**が避難所に避難することも考えられる。感染対策は濃厚接触者と同様（Q1～Q4など）。



Q13. 避難所における健康な避難者の感染リスクを下げるため、避難所内の**動線**の分け方や**ゾーニング**を適切に行い、避難者にとって十分なスペースを確保するためには、どのようにすれば良いですか。

- 「発熱・咳等の症状のある人」や、「濃厚接触者」は、「健康な避難者」と避難場所や動線を分ける。これを「**ゾーニング**」と呼ぶ。
- 「発熱・咳等の症状のある人」の原因は様々である。また「濃厚接触者」も、発症した人と発症していない人は初期は見分けが付かない。従ってこれらの避難者は、**ゾーニング**したうえで、さらに**個別に対応**する必要がある。



ゾーニング

- **汚染区域**と**清潔区域**を明確に区別する。
- **汚染区域**は可能な範囲で狭く設定する。
- ナースステーションなどの詰所は原則として**清潔区域**とする。
- 職員は**汚染区域**に入るときに必要な個人防護具を**着用**し、**汚染区域**から出る際には個人防護具を**脱衣**する。
- **汚染区域**で職員は飲食したりしない。私物も持ち込まない。



ゾーニング

- **確定患者**同士の同室は**可**
- **疑い患者**同士の同室は**不可**
- **濃厚接触者**の同室は**不可**

